

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	ハートの家・式番館	評価実施年月日	平成21年11月11日～平成21年11月26日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成21年11月28日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>地域に根ざした暮らしを作る事を基本とし、ひとりひとりの人生が尊重され、お互いに支え合う関係を共に創る事を方針とした介護理念を掲げ、壁に掲示している</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念に掲げられている地域(町内会等)との関わりを増やせる場面を管理者、職員は意識し、日頃の業務の中で実践できる機会がある時は取り入れていくようにしている</p>	○	<p>地域との関わりは少しずつ増えてきているがまだ十分とは言えない。隣近所に住まれる方々とのお付き合いを今後増やしていきたい</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>御家族様や地域(町内会)の皆様にはホーム内で行う行事や町内回覧板へのホーム便りの記載等を通し、参加の呼び掛けや発信等を行う事により理念の実現に取り組んでいる</p>	○	<p>ホームでの行事への呼び掛け等は行っているが、理解して頂けているかどうかははっきり分からないのが現状である。今後も力を入れていながら新たな取り組み等もおこなってきたい</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>朝のゴミ出しや買い物、散歩、回覧板等でお会いする方々に挨拶をしながら、少しずつ親しくなれているが気軽に立ち寄って頂けるような付き合いにはなっていない</p>	○	<p>気軽にホームに立ち寄って頂けるような付き合いになれるよう努めていきたい</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>地域のボランティアによるホーム内行事への参加を頂いたり、近所の幼稚園でのバザーへの出品等により交流を増やしてはいるが、自治会や老人会等への活動への参加は十分とは言えない</p>	○	<p>地域での行事や自治会等にも参加していけるよう努めていきたい</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>地域(町内)の回覧板に高齢者等に役立つような情報を記載し回して頂いている</p>		<p>今後は情報だけでなく直接的な関わりができるよう努めていきたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>前年度の評価結果は閲覧用に掲示しており、自己評価及び外部評価に対する内容の説明、理解を出来る場を作っている</p>	○	<p>評価結果は来訪者にも御覧頂けるよう玄関の壁に掛けてある為、職員が目を通しにくく、改善に向けて取り組んでいく意識が薄れてしまいがちである。設置場所を増やす等し具体的な改善に繋げやすくしていく必要がある</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>概ね2ヶ月に1回運営推進会議を行い、出席者には状況報告をし、評価や意見を出して頂いている。内容に関しては議事録を作成し出席者、職員に知らせている</p>	○	<p>議事録は来訪者にも御覧頂けるよう玄関の壁にかけてある為、職員が目を通しにくく、意見が職員全員に伝わりにくい環境になっている。設置場所を増やす等しサービスの向上に活かしやすくするようにしていく必要がある</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>管理者会議や月々の報告等の場で連携を計っている</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>研修会や勉強会に全てのスタッフが出席出来理解出来る様に勤めております。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>高齢者虐待防止関連法に基づいた資料や事例を基に勉強会を行っている</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>必ず数回御話をさせて頂き、必要に応じて再度説明させて頂いております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	生活の中での会話等の中から入居者様の意見や不満、苦情が聞かれた時は、迅速に対応し業務や運営の改善に結び付けている。又、玄関に意見箱を設置し反映へとつなげている		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	御家族様には2ヶ月に1度、健康状態の報告、月に1回の金銭出納の報告、ホーム便りによる新人職員の紹介等をおこなっている		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情箱の設置や国保連への連絡番号等掲示、来訪時の面談等により意見や不満等表せる機会を設けている。又、それらが発生した場合は話し合い等による解決を図る他、経緯や結果を活用し運営適正化に向けて改善を行うようにしている		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングや会議等の集まりや日々の業務の中で職員からの意見や提案を聞き出すようにしている。必要に応じて話し合いの場を作り、可能なものはその都度反映させている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者様の状況に合わせて職員の勤務や業務の変更を行っている。受診等により職員数が不足する時は他ユニットより補充し調整を行うようにしている		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動や離職があった場合には入居者様への影響を最小限に抑えるよう新たに配置する職員をできるだけ同じ性別、同じ年代になるよう配慮している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>職員の能力に応じて法人内外の研修を受ける機会の計画を立てている。又、個別の能力に応じてのスキルアップの為に勉強会を実施している</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>同区内で運営するグループホームとの連絡会議やその中での事例検討会等を通じサービスの質の向上を心掛けている。相互訪問活動に関しては以前は行っていたが今年度は実施できていない。</p>	○	<p>今後は様々な関連機関との相互訪問等の活動に取り組んでいきたい</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>職員のストレスを軽減する為の工夫や環境作りは現在取り組めていない</p>	○	<p>以前は法人で集まり運動(フットサル)等をしておりましたが、参加者が居なく現在は休止となっております。今後気楽に色々なスタッフが参加でき気楽に話し合える事が必要と感じており考慮中です。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>毎月法人内の管理者会議があり、各法人の勤務状況や職員の努力、事例の報告等をしている。職員の向上心に繋がるものはその都度報告し各自が意欲を上げる事ができよう努めている</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居前の相談の段階から、本人様が困っている事、求めている事を聞いている。又、入居前にホームの見学を本人様にもして頂き、不安な事等がないか等尋ねている。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>御家族様からの意向やっている事、不安な事等を出来るだけ多く聞かせて頂いている。ホームの特色等も説明させて頂き、お互いに納得できるよう配慮している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人様や御家族様から相談を受けた時は内容や緊急性、ニーズの高さ等を検討し対応している。又、必要に応じて医療機関や他のサービス機関に繋げるなど連携を図っている		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	アセスメントシート等を活用し、ひとりひとりの性格やこれまでの生活状況を把握した上でゆっくりと入居者様のペースで馴染んでいけるよう御家族様との連携や職員間での情報の共有に努め支援を進めている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	食事作りや掃除、畑仕事等生活の中の様々な場面の中で共に作業を行い、考え、実行している。その中で職員が教えて頂いたり出来ない部分を手伝ったりするような関係を築いている		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	定期的な連絡や来訪時の面談等により入居者様の近況報告を行い、相談を受けながら共に支援していく関係を築くようにしている		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	定期的な入居者様の近況報告や来訪時の面談等により、入居前の生活状況や御家族様の意向、現在の御様子等を伝えながら御家族様が安心して希望に添えるよう努め、より良い関係が築いていけるよう配慮している		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様や友人様等の訪問は基本的に自由であり、又入居者様や御家族様が望まれば外出や外泊もできるようになっている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者様同士の関係を理解し、気の合う方や合わない方への配慮や孤立しがちな方への気遣い等を行いながら、入居者様同士が関われる時間を増やし共に支え合う環境が自然にできるよう努めている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	お見舞いや電話、ホーム便りを送付したりしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの中からひとりひとりの暮らしの希望や意向を聞き入れ把握すると同時に沿う事が出来る物は実行している。自ら表現出来ない方にはその方の御家族に伺っている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントシートにより収集したひとりひとりの過去の生活歴や馴染みの暮らし方、環境、経緯等を御家族や親しい方から詳しくお伺いし、それらを職員間で共有している		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	ひとりひとりの生活の様子を個別に日誌へ記録し、その日の過ごし方や心身状態、出来た事や出来なかった事などをサービス内容と結びつけながら把握し職員全員が把握するようにしている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	月1回のサービス検討会議と緊急時の話し合い等を行い、職員ひとりひとりが意見やアイデアを出し合い、御本人や御家族様の希望や意見に沿ったより良いケアが実施できるよう努め、介護計画を作成している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の目標期間に合わせて定期的にモニタリングを行うほか、月1回と変化時の見直しを行い新たなニーズが発生した時は介護計画の追加作成等をおこなっている		
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ひとりひとりの生活の様子やケアプランの実施状況を毎日個別の日誌に記録している。又、ケアプランの内容に繋がる生活の様子等は具体的に記入し、モニタリング材料としても活用している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ユニットごとに連携し合い、入居者様の要望や状態に応じた買い物や受診、外出等に行く等している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	入居者様の要望に応じて週1回のボランティアのダンスや町内会のボランティアによる民謡やフラダンスの鑑賞、消防隊員による避難訓練等を協力して頂いている		
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他の利用はして居りません。		
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターとは現在、運営推進会議の中でのお付き合い程度となっている		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	月1回の定期受診、又は月2回の往診等により健康管理を行い緊急時には常に連携をとれるようにしている		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門医に受診、通院時や変化の見られる場合其の都度相談させて頂いております。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員は確保していないが、24時間常に相談、受診できる医療機関との連携はとれている		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入居者様が入院となった場合、担当医等との情報交換をとりながら早期退院に向けて連携をとるよう努めている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	契約の段階から入居者様ならびに御家族様に対し重度化や終末期の対応について説明を行い同意を得ている。又、できるだけホームで共に過ごして頂けるよう考え、本人様、御家族様、担当医とも連携しホーム内でミーティングを行い職員間で方針を共有するようにしている		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	御本人、御家族様の意向、希望を踏まえた上で医療機関と連携し安心して終末期を迎えられるような支援ができるよう取り組んでいる		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	御本人様の生活状況や健康面等の情報を交換しあい、御本人の不安やダメージを最小限に抑えるよう努力している		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	入居者様ひとりひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねることのないようね対応や言葉掛けを心掛けている		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	言葉だけでなく表情や動作等を見ながら分かりやすい言葉を選び声掛けしている。		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	ひとりひとりの希望を聞き、外出や買い物等極力沿えるように取り組んでいる		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	基本的には御本人の好みの服を着て頂いているが、御自分で出来ない方については職員と一緒に選んだり等している。理容、美容は希望や状態により訪問サービス又は近隣の美容室を利用している		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	食事形態は食べやすい大きさや柔らかさになるよう工夫に努めている。又、ひとりひとりの能力に応じて食事作りや配膳、下膳、洗い物や後片付けなどを行って頂いている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	お酒を希望される入居者様には年に数回、行事の時等に提供し楽しんで頂いている。喫煙される方は現在は居らず、飲み物やおやつ等を希望される方には一緒に買い物に行き、好みの物を購入している		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っている。夜間も失敗が減るよう本人様とも話し合いの上時間を決め誘導を行っている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	基本的に曜日は決まっているがその日の気分や体調を考慮し、いつでも入浴を楽しめるよう支援している		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中の活動を個々の状態に合わせて取り入れ生活リズムを整え、夜間は良眠できるように支援している。不眠時には状況に合わせた対応をし安心して眠れるように心掛けている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	入居者様ひとりひとりの出来る事、出来ない事を見極め能力に応じた楽しみ方や役割が出来るよう支援している		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が出来る方に対しては個人で使用して頂いていますが、御家族様よりお金を預かりホームが管理している方は、買い物等の際に気軽に使う事が出来るよう支援している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	入居者様の希望に応じ買い物や、散歩、ドライブ等に出掛けている		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	お花見やヨサコイ、雪祭り、温泉旅行等、御家族様にも声を掛け、出掛けている		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があった時は対応し電話を掛けられるように支援している。届いた手紙は本人様に手渡ししている。能力に応じ職員が変わりに読んだり、投函したりしている		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	御家族、友人、知人等がいつでも気軽に訪問しやすいよう、訪問時に挨拶し、呼び掛けている		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会やミーティング等で身体拘束について学習する機会を設け、実践している		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	基本的に玄関の鍵は掛けていない。居室も御本人様が自ら施錠しない限り職員が掛けることはない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中は、お茶や体操の誘い等により自然な形でひとりひとりの所在の確認を行っている。夜間は音や光等に十分配慮しながら定期的な見回りを行い安全に過ごさせているか確認している		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入居者様ひとりひとりの能力を見極め、危険な物と安全に管理出来る物の管理の仕方を変えている。特に危険な物は鍵の掛かる場所に保管している		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	日々の入居者様の御様子から起こり得る事故を視野に入れ予防策に取り組んでいる。起きてしまった事故等に関しては要因、対策等を職員間で検討し再発の防止に取り組んでいる		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	年に2回程度、応急手当や初期対応の訓練を行っている。又、マニュアルを作成し様々な事故発生時の対応法について学習をしている	○	時間の取れる限り勉強会等の回数を増やし、様々な知識や技術を習得していきたい
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年に2回の避難訓練、消防士からの消火器の使用法や非難方法等について指導を頂いている。又、災害や火災時の緊急避難場所として近隣の会社や住民にも協力をして頂けるよう働きかけている		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	入居者様の定期的な近況報告の郵送や来訪時の面談等により起こり得るリスクについて説明し、安心で快適な生活が送れるよう話し合っている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	食事や排泄、水分摂取量等ひとりひとりの体調に常に気を配り、変化や異常があった時はすぐに対応すると同時に記録に残すようにし全員が周知できるようにしている。又、必要に応じて医師との連携を図っている		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ひとりひとりの薬の説明を専用ファイルに閉じいつでも確認できるようにしている。又、口頭や文書により職員間の情報を共有するようにしている。新しい薬が処方された際に副作用が考えられる時は専用シート等を活用し変化を観察し医師との連携に努めている	○	ファイリングの仕方を工夫し更に見やすく活用できるように改善していきたい
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排便を促す飲食物の提供や毎日の体操の実施、水分摂取量等に気をつけている。又、ひとりひとりの排便状況に合わせ医師の指示のもと下剤の調整を行っている		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の口腔ケアを行って頂いている。出来る方には声掛けにより促しをし、必要な方は能力に応じ職員が介助を行っている。一部拒否される方もおられスムーズに支援できない時もある		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事、水分量のチェック表があり毎食確認し一日に必要量が摂取されるように努めている。又、栄養のバランスの摂れた献立を作成し提供している。水分に関しては摂取不足傾向の方には好みの物や形態に変更する等し確保に努めている		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防の一環としてインフルエンザワクチンの予防接種を入居者様、職員共に全員が行うようにしており、又ホーム内の手拭きタオルは使い捨てのペーパータオルを使用し清潔保持に努めている。 感染予防マニュアルを作成しており予防や対応法に沿って実行している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	台所調理器具は毎日消毒し衛生管理に努めている。野菜類等の食材に関しては毎日市場より配達して頂き新鮮な物を使用している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関横には花壇を作り花を植え、玄関内には観葉植物を置き明るい雰囲気を作っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居間には自然採光が入りいつも明るい雰囲気が保たれている。又、庭で咲いた花等季節に合った飾りつけをするよう心掛けている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間にはテーブル、ソファ、テレビ、本棚、水槽等があり、複数で談話出来るような向かい合わせの椅子の配置や少人数で過ごせるようなソファが設置してあり思い思いに過ごせるように工夫している。ひとりになれる場所は共有空間にはない	○	物理的に可能であれば1人になれるような空間も作っていきたい
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人が使い慣れたベッドやタンス、仏壇、テレビ等、好みの物を持って入居され居心地の良い空間になるよう工夫している		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	調理や排泄等の際に発生するにおい等で空気が悪くならないようその都度、換気や消臭剤の使用を行っている。外気との大きな差がないよう夏は扇風機の使用、冬はストーブの温度を上げすぎない等に気をつけている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム全体がバリアフリー構造になっており移動場所や浴室、トイレには手すりを設置し安全で自立した生活が送れるように配慮している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	居室やトイレ等の入り口にわかりやすいような位置や大きさで表札や表示を掛けている。ひとりひとりが何がわかりにくいのかを把握しながら状況に応じた対応をしている		
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	庭でガーデニングを楽しんだり、ホーム裏の畑で野菜や芋を栽培し、駐車場を利用した夏祭り、秋の収穫祭等に御家族やご近所の方々を招待し、手料理やゲーム等を楽しんでいる		



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんど掴んでいない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>② 新しい入居者様に対して思いや、希望、暮らしのリズムを把握出来ていない部分が見られる。</li> </ul>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎日ある</li> <li>② 数日に1回程度ある</li> <li>③ たまにある</li> <li>④ ほとんどない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 1日の内数回入居者様の隣、又は居室お話ををする時間がある</li> </ul>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 本人のペースで生活して頂いています。</li> </ul>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>② 感情の変化が理解できず、要望がわからない場合がある。</li> </ul>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>② 買い物、ドライブ、町内会の行事等参加しております。</li> </ul>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>② 全員が不安がないとは言いきれない</li> </ul>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>① できるだけ柔軟な対応をとるように努めている</li> </ul>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての家族</li> <li>② 家族の2/3くらい</li> <li>③ 家族の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどできていない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 定期的な面談や電話連絡などで伺っている</li> </ul>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ毎日のように</li> <li>② 数日に1回程度</li> <li>③ たまに</li> <li>④ ほとんどない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>② 御家族様は、それぞれ定期的に来訪されている</li> </ul>

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p>② 町内会長様や近隣住民の方からのお誘いや来訪が少しずつではあるが増えてきている</p>
98	<p>職員は、生き生きと働けている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>② 新しい職員はまだ仕事に慣れていない事や不安も有り、勉強と緊張の最中だと思われる</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>② 入居様様の御性格や職員との相性等により、遠慮や不満もある事と思われる</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>② 苦情やクレーム等は特に頂いていないが、気兼ねや遠慮なくお付き合いが出来るよう努めていきたい</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)